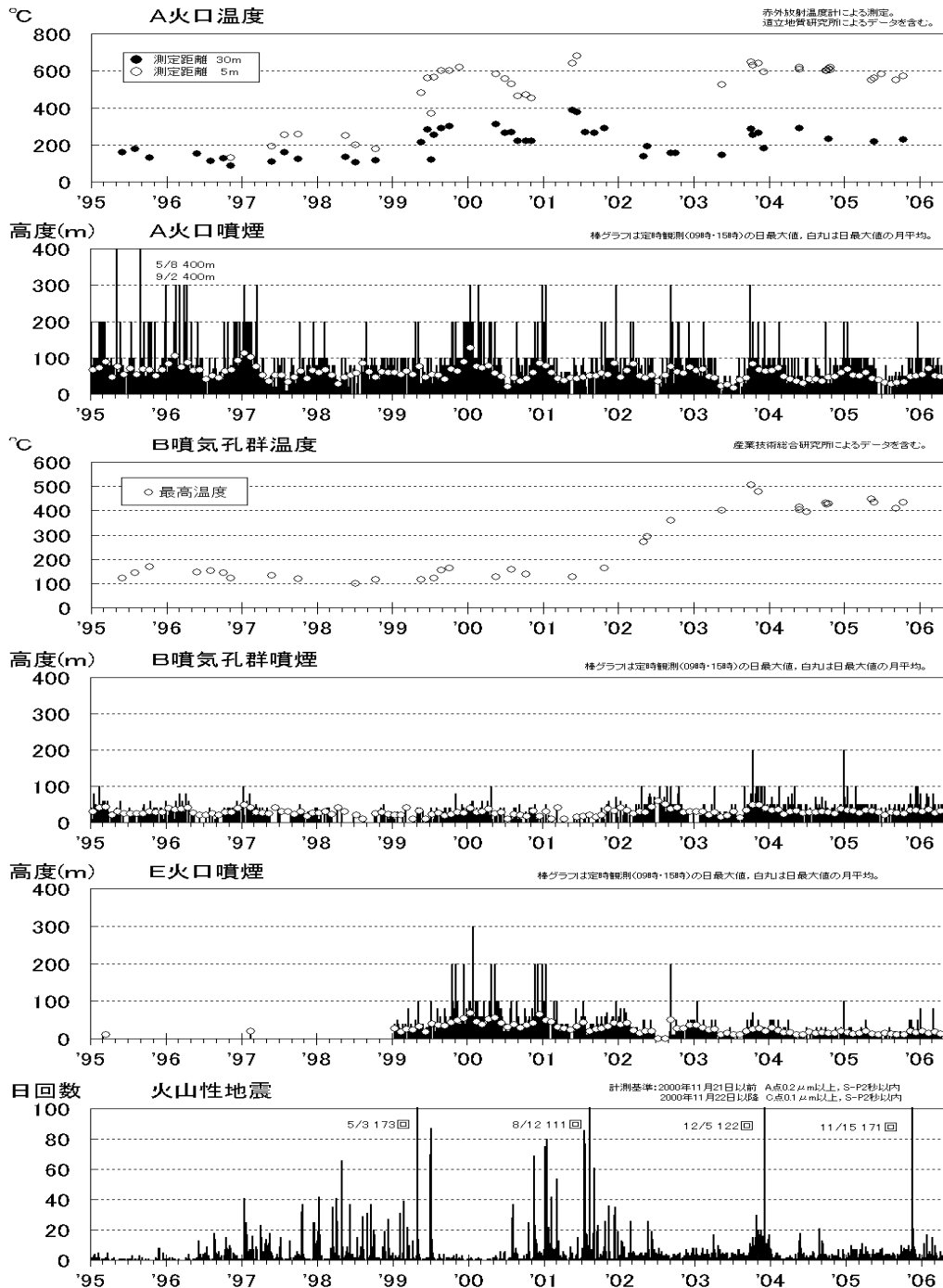


樽前山

1 概況

A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動に大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。



最近の火山活動経過図 (1995年1月1日~2006年4月30日)

樽前山の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

2 噴煙の状況

各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。

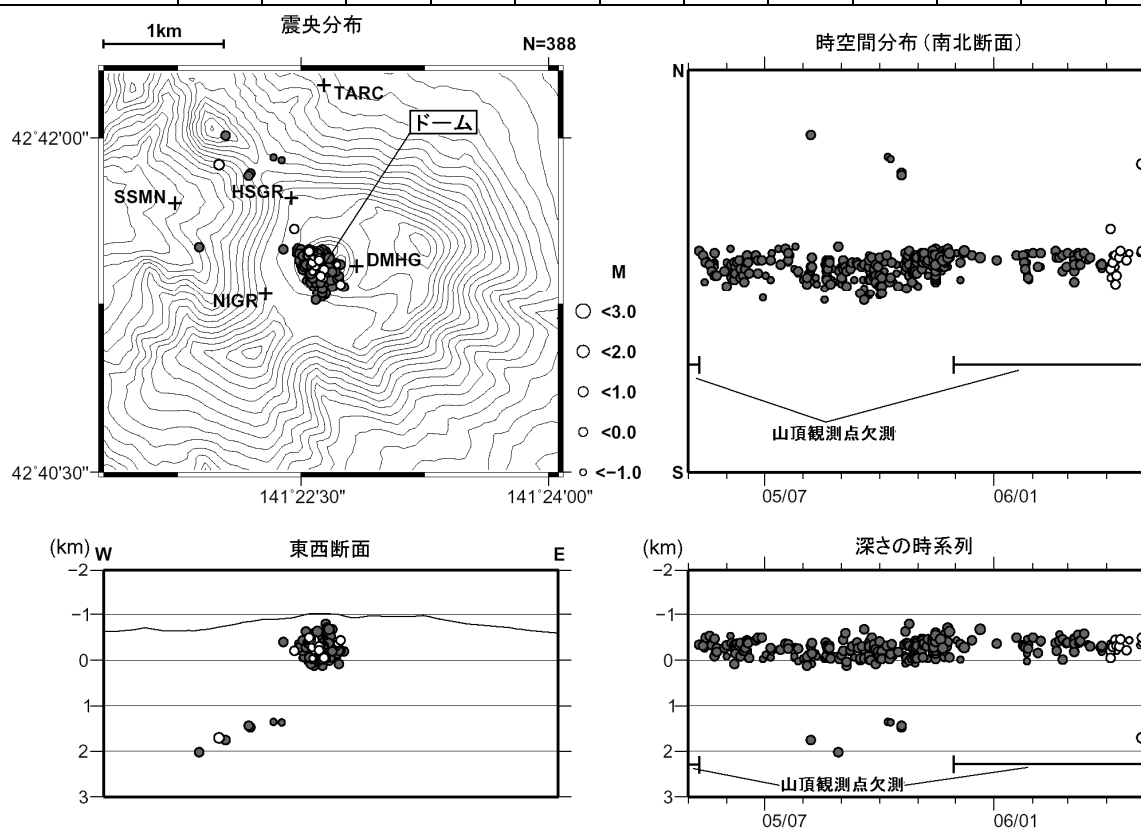
3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0~6 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、山頂火口原浅部に集中していました。

火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数 (C点)

2005~2006年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	46	75	33	46	50	96	349	38	60	77	45	32
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



樽前山の震源分布図 (丸印：震源、+印：地震観測点)

※2005年11月29日以降、山頂観測点障害のため樽前山の震源決定能力が低下しています。

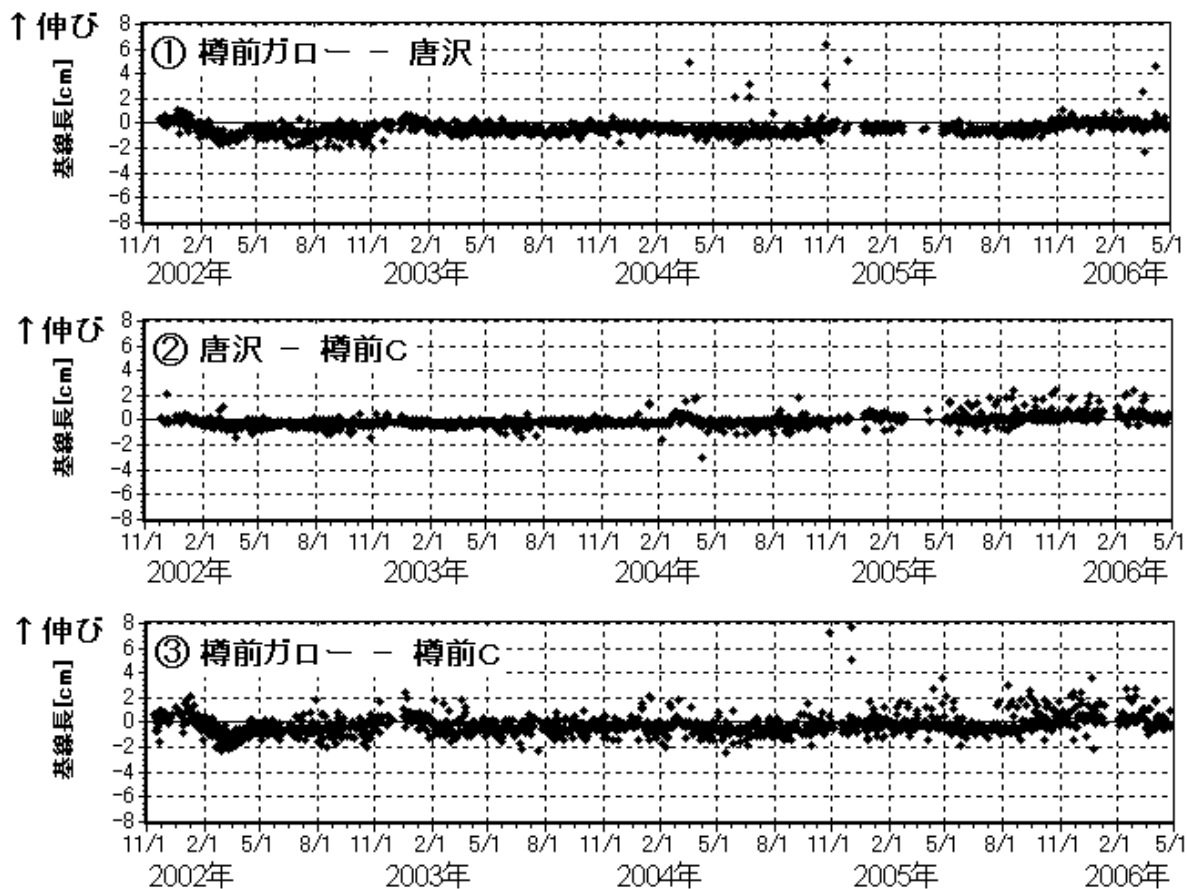
○印は今期間(2006年4月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの11ヶ月間(2005年5月~2006年3月)に求まった震源を示しています。

震源は山頂ドーム直下の海面付近に集中し、ドームの北西及び西約 1.5km 付近のやや深いところ(海面下約 2km 前後)にも分布しています。今期間に求まった震源は、山頂ドーム直下の海面付近に集中しています。

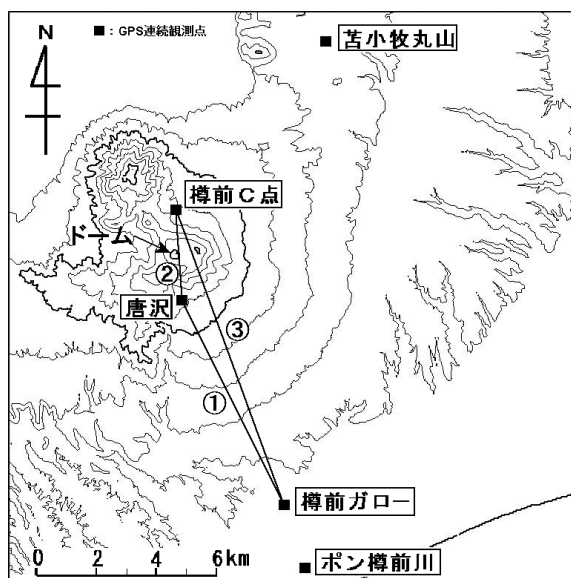
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。

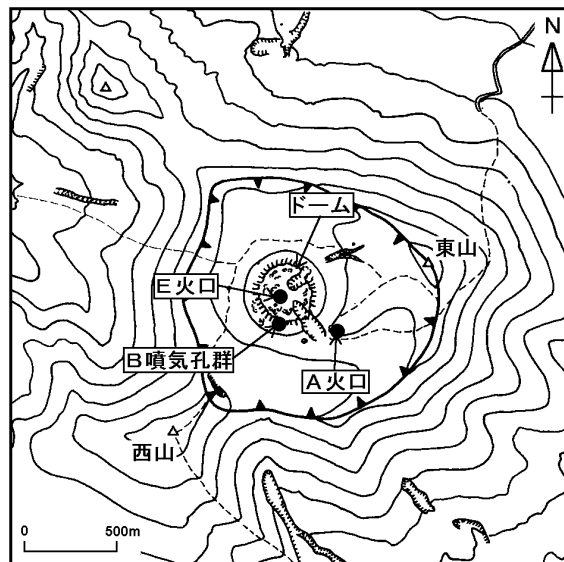


基線長変化 (2001 年 11 月 14 日～2006 年 4 月 30 日)

基線長変化グラフの空白部分は欠測



GPS 観測点配置図



樽前山山頂火口原図